

# 2018 愛媛教職員組合夏季学習会

## 「えひめ夏物語」

今年の夏の学習会は、国立療養所“長島愛生園”の施設見学です。  
ぜひ、この機会と一緒に学びましょう。

**ハンセン病とは** ハンセン病は、らい菌という抗酸菌がおこす慢性の感染症です。おもに皮膚、末梢神経を侵しますが、眼、鼻・のど・口などの粘膜、一部の内臓にも病変が生じます。1873年に菌を発見した医師ハンセンにちなんで、ハンセン病という病名が用いられています。皮膚に生じる変化や末梢神経の病変、菌の検査などによって、病型を区別します。病型によって、病状の進み方や末梢神経の障害、反応性病変が異なり、治療法も変わってきますので、ハンセン病の治療は病型を決めることから始まるといえます。いま広く用いられているのは、1) 皮膚菌検査が陽性か陰性かによってMB(多菌型)、PB(少菌型)の2型に分ける分類 2) 検査のほかに臨床病変、組織検査、菌への抵抗力などを加えて総合的に分類するリドレイ・ジョプリング分類の2つの分類です。現在、ハンセン病は治る病気となっています。早く、確実に治癒させるとともに、末梢神経の障害を防ぎ、後遺症・合併症を少なくして、患者さんの社会生活を損なわないようにするのが治療の目標となります。ハンセン病治療薬としては、主にリファンピシン、クロファジミン、DDS(ジアフェニルスルホン)、オフロキサシンが使用されます。多剤併用が原則です。多剤併用療法によって治療期間が短くなり、耐性の出現が抑えられ、再発はまれになっています。治癒にいたるまで、また治療後のケアも長期にわたるので、患者さんと治療スタッフとの信頼関係を保っていくことが大切です。末梢神経が侵されて知覚麻痺、運動障害が生じると回復が困難で、入所者の多くの方にさまざまな後遺症が残っています。こうした障害のある人たちへの介護と介助、後遺症の治療、そして高齢化に伴う老人性疾患の治療、これらが現在の愛生園の医療と福祉活動の中心となっています。日本で新しくハンセン病と診断される人は、年間6、7人となっています。新患の大部分は一般病院で治療を受けています。日本ではハンセン病の流行はもう終わっていますが、発展途上国のなかにはまだ患者さんの多い国があります。こうした国々のハンセン病への取り組みに、日本のハンセン病医療に携わっている人たちが協力する活動が続けられています。(出典：国立療養所長島愛生園ホームページより)

### 記

- 日時 2018年 8月18日(土) 10時～12時  
JR 新居浜駅南側の駐車場付近に6時45分集合(時間厳守、乗り合いにて岡山へ出発)
- 場所 国立療養所長島愛生園  
〒701-4592 岡山県瀬戸内市邑久町虫明 6539 番地 (代表電話) 0869-25-0321
- 内容 ①歴史館見学 ②歴史回廊見学(島内の施設見学)  
※他団体との合同での見学になります。

日程・6時45分 JR 新居浜駅南側の駐車場付近に集合 → 2時間30分を予定(10時～12時 長島愛生園訪問)  
・帰路につく(途中 昼食休憩) → 15時30分 JR 新居浜駅南側の駐車場付近にて解散予定

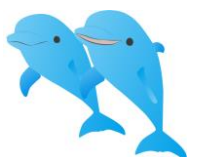
- 参加 愛媛県内小・中・県立学校教職員(定員あり・先着順 ※詳しくは書記局まで)  
※旅費は実費をお支払します。
- 〆切 7月20日(金)(書記局、またはお近くの組合員まで)

【連絡先】 愛媛教職員組合(書記局)

〒790-0813 松山市萱町6丁目42 コーポラスかやまち1F

TEL 089-924-4546・FAX 089-924-4403

e-mail [jtuehime@lime.ocn.ne.jp](mailto:jtuehime@lime.ocn.ne.jp) (担当者) 越智 勇二 携帯電話 090-1578-3916



# JR新居浜駅・駐車場(新居浜市HPより)



	①	②	③
	駅前駐車場	駅南口広場 駐車場	駅南駐車場
主な用途	送迎利用 (短時間利用)	パーク&ライド※ + 周辺施設利用 (中・長時間利用)	
駐車料金	30分まで無料 30分毎に100円 (24時間最大2,100円)	3時間まで無料 1時間毎に100円 24時間最大600円	
駐車台数	40台	20台	84台

※駅周辺駐車場に自動車を置き、公共交通機関に乗り換えて目的地へ向かう利用方法

